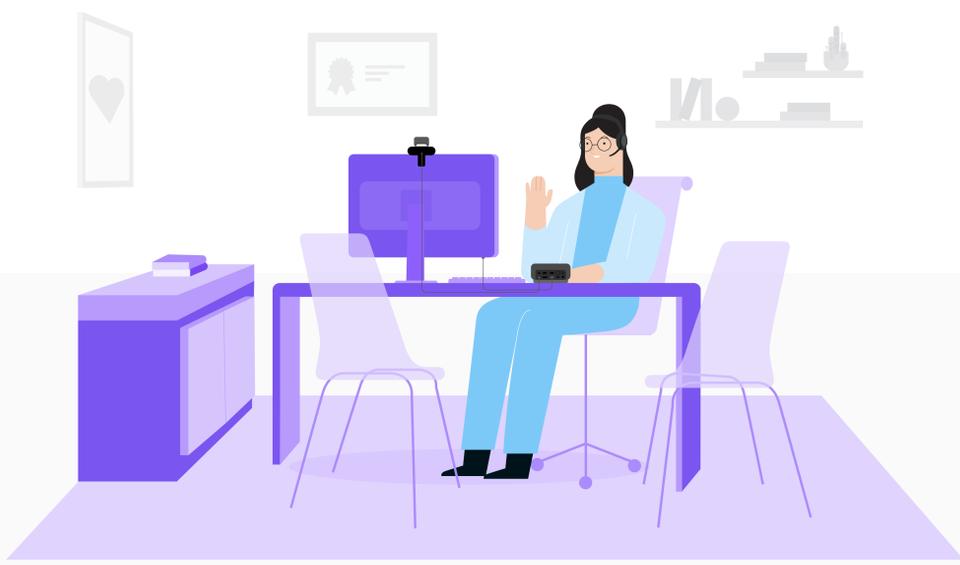
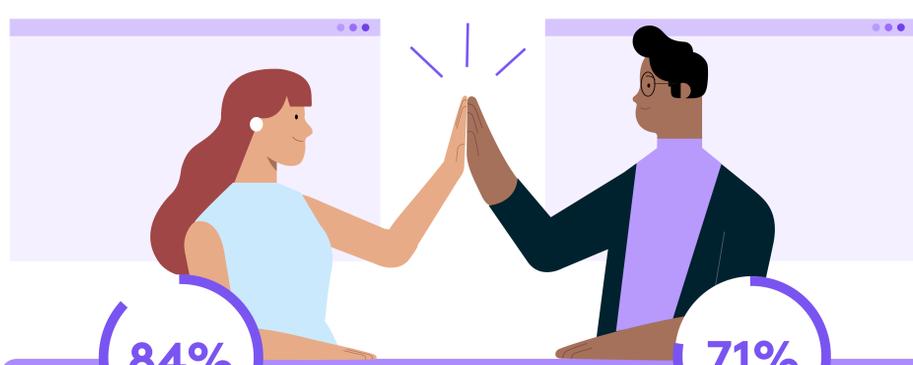


オンライン診療に関する医療従事者の本音



遠隔医療の利用は、過去2年間で38倍以上に増加しています。Escalent社が先日実施した**世界のオンライン診療体験に関する調査**¹により、遠隔医療に関する患者と医療従事者（HCP）の本音を知ることができました。



84%
の遠隔医療を利用する患者が、その診療体験に満足しています。

VS

71%
のHCPが、自分たちの提供する医療に満足しています。

すべての人のオンライン診療体験を改善する方法

1 アクセスと効率の間にギャップがある



82%

の医療従事者が、遠隔医療により患者の診療へのアクセスが拡大すると考えています。

34%

が、対面診療よりもビデオベースの遠隔医療のほうが効率的であると考えています。



2 医療従事者はビデオの画質の低さが問題であると認識している



92% が、ビデオの画質が低いと患者の再診率が下がると回答しています。

77% が、プロフェッショナルな見栄えに画質が重要であると考えています。

68% が、ビデオの画質が低いと、患者が別の医療従事者を選ぶ可能性が高くなると回答しています。

3 HCPは、いつでもどこでも利用できる高画質なビデオを必要としている



75%

のHCPが、遠隔医療の利用率が拡大すると予想しています。



93%

のHCPが、ビデオの画質向上によって患者の診療体験が改善すると考えています。



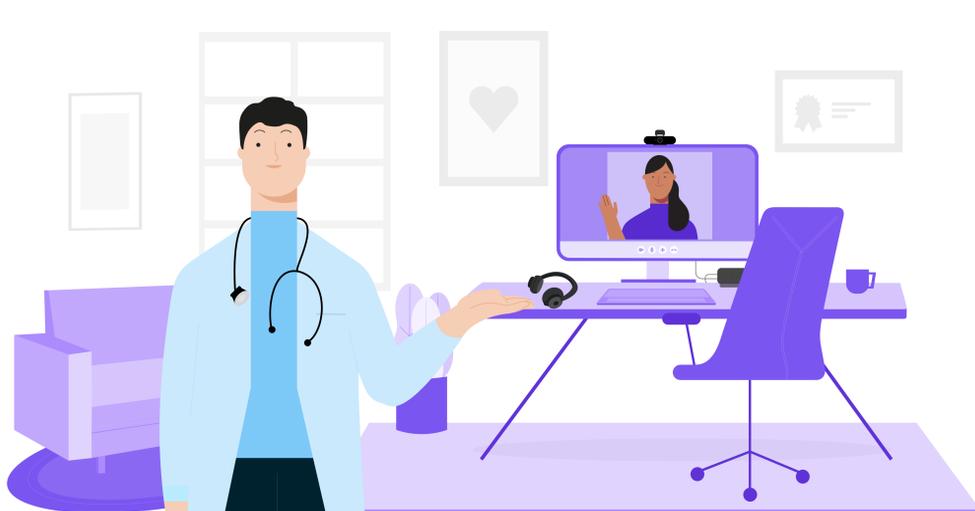
3人に1人

のHCPが、遠隔医療テクノロジーの利用は簡単ではないと考えています。

共同で医療の発展を目指す

遠隔医療はすでに定着

IT部門の意思決定者は、ビデオ対応の遠隔医療ソリューションを導入して、シームレスでシンプルかつ一貫したオンライン診療体験を、医師とその患者に提供しています。病床で、医療提供者の自宅で、あるいはそれ以外のどこかで何ができるかを再検討しましょう。



世界のオンライン診療体験に関する調査と、オンライン診療向けビデオソリューションの詳細は下記URLをご参照ください。

logicool.co.jp/healthcare